

報道関係各位

平成27年11月26日  
国立大学法人 東京医科歯科大学

## 東京医科歯科大学が日本で初めて設置が認められた 国際共同学位（ジョイント・ディグリー）プログラムを チリ大学及びチリ大学関連病院と開始

### ●ポイント

- 東京医科歯科大学、チリ大学、チリ大学関連病院であるクリニカ・ラス・コンデス病院が連携し、高等医学教育、専門的医療教育のグローバル化を見据えた新たな体系のプログラムを構築する。
- 5年間の標準修業年限内で、学位取得に向けた質の高い研究と、臨床専門医レベルの高度専門的医療人としての技術を身につけられるカリキュラムを提供する。
- 国際的リーダーになりうる高度の専門的医療人すなわち、臨床医学・医療の本質を理解したプロフェッショナルであるとともに研究者としての視点・資質をも有する人材を育成することが可能となる。

国立大学法人東京医科歯科大学はグローバル人材育成の観点から、海外の大学と共同で大学院教育を行い連名で一つの学位を授与するジョイント・ディグリープログラムを開設します。文部科学省により平成27年6月15日付けで、日本で初めて設置が認められたことから、チリ大学及びチリ大学関連病院であるクリニカ・ラス・コンデス病院と「ジョイント・ディグリープログラム開設に関する協定」を締結して大学院プログラムを開設し、平成28年4月から学生を受け入れます。

## ●東京医科歯科大学のグローバル教育について

本学は基本理念の1つである「国際性豊かな医療人の養成」に基づき、単に語学力や専門分野に関する英語のみでなく、国際社会のリーダーとして活躍できる人材に必要な思考力などの涵養も踏まえた学習機会を提供しています。

学部教育の取り組みとしては、リーダー養成のための英語選抜プログラムである「ヘルスサイエンスリーダーシッププログラム(HSLP)」が2013(平成25)年度よりスタートしています。少人数による完全英語履修でのHSLPは、ケースメソッドを使用し、問題解決力や批判的・創造的思考力、リーダーシップスキルなどを磨くようカリキュラムが組まれています。

大学院教育では、完全英語履修の「グローバルヘルスリーダー養成コース(修士/博士)」を新設します。日本国内はもちろん、アジア諸国から優秀な学生を募り、国際的な医療機関、研究機関などで活躍できる人材の育成を目指します。

「スーパーグローバル大学創成支援(タイプA:トップ型)」に採択されている本学は、世界に冠たる医療系総合大学を目指して、更なるグローバル化の推進を図ります。

## ●チリと本学の関係、実績、現状

- ・昭和43年に本学の教授がチリで行った講演をきっかけとして、チリではJICAによる胃がん早期診断技術の研修が開始され、本学でも多くの研修生を受入れてきた。
- ・40年にも及ぶ交流実績があったことから、大腸がんによる死亡率の高まりを問題視していたチリ保健省とクリニカ・ラス・コンデス病院(CLC)の協力要請を受け、チリにおける大腸がんの早期集団検診システムを確立するプロジェクトを立ち上げるため、3者で平成22年1月に協定を締結した。
- ・本協定に基づき、平成22年4月、CLC内に本学のチリ海外拠点となるラテンアメリカ共同研究拠点(Latin American Collaborative Research Center:LACRC(ラクルク))を開設し、今まで延べ7名の教員(現在は1名)を派遣して、早期大腸がん診断と治療に関する指導、教育及び研究支援を実施している。
- ・この取組み、大腸がん早期診断プロジェクト(PROYECTO DE PREVENCIÓN DE NEOPLASIA COLORRECTAL:PRENEC(プレネック))は、南米全体に拡がりを見せており、エクアドル及びパラグアイとも、両国保健省との国際協定の下、既に同様の活動を開始している。
- ・本学においては、平成22年度から医学科4年次の学生を約5ヶ月間、LACRCに派遣し、チリ大学やCLCで研究実習を体験するなど、学生の国際性涵養の場として活用している。

## ●プログラム概要

- 名 称： 東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻
- 運 営： 東京医科歯科大学、チリ大学、クリニカ・ラス・コンデス病院の教員が  
共同でカリキュラムを運営
- 入学定員： 3人
- 入学資格： 日本又はチリの医師資格及び外科専門医又は内科専門医の資格を有する者
- 修業年限： 5年
- 論文審査： 東京医科歯科大学、チリ大学、クリニカ・ラス・コンデス病院教員の合議  
体で審査
- 学 位： 博士(医学)【1枚の学位記を東京医科歯科大学とチリ大学が連名で授与】
- そ の 他： チリ人学生については specialty をチリ大学から授与（チリの専門医資  
格）
- 奨 学 金： 両国の奨学金制度を活用する。

## ●養成する人材像

- ・ 消化器外科における高度なトレーニング、消化器疾患での内視鏡検査及び高度診断機器を用いた高度なトレーニングを含む上部消化管外科、大腸肛門外科あるいは胃腸病内科で臨床専門家として認めるために必要とされる技能を持つ人材
- ・ それに加え、病理学、分子生物学、遺伝学、疫学及び公衆衛生学、臨床研究及び生物統計学等の分野での学識を持つ人材
- ・ 修了時には、食道・胃・大腸がんの分野（消化器腫瘍学）に応用できる基礎研究及び臨床研究の専門的知識・経験を有し、国家的及び国際的な臨床研究プロジェクトのリーダーになれる人材

## ●期待される効果

世界大学ランキングトップ100を目指している本学にとって、海外大学と連携して質の保証を伴った魅力ある国際共同プログラムを開設し、大学の国際競争力を強化することは、本学が機能強化を図る上で重要な戦略の一つである。

我が国において、臨床医、専門医としての医師キャリアを取得することに人気が集中して、医学研究の指導者が不足し、医学全体の発展に悪影響が及びかねない事態を打破するために、自立して研究を遂行できる研究者を育成すると同時に、臨床的に高度な専門性に裏打ちされた技能・経験を得ることが出来る魅力的なプログラムが必要となっている。

本プログラムは、

- ① 地域間の移動が少なく遺伝性疾患などの研究資源を得て研究が進められる。

- ② 食生活が類似しており消化器系癌の多い日本・チリの公衆衛生学的、疫学的、遺伝学的検討を行うことができる。
- ③ 本学の学生にとっては総合大学としてのチリ大学から他分野・多領域にまたがる広い視野での指導を受けられる。
- ④ これらの利点を得た研究をしながら、専門医申請のための技能と経験を得ることができる。

#### 【チリ大学】

- ・ 1842年設立（173周年）
- ・ チリ最大かつ最古の高等教育機関
- ・ QS世界大学ランキング2015-2016  
総合209位、医学分野201-250位  
(TMDU：総合391位、医学分野101-150位)
- ・ 14学部、5キャンパスを有する総合大学

#### 【クリニカ・ラス・コンデス病院（チリ大学関連病院）】

- ・ チリで有数の高級私立病院
- ・ CLC医師の多くは、チリ大学の教員も兼務
- ・ 本JDPにおいては、学外実習施設の位置付け
- ・ チリ大学医学部との距離は約15km（車で20分程度）

#### 【共同学位（ジョイント・ディグリー（JD））】

連携する大学間で開設された単一の共同の教育プログラムを学生が修了した際に、当該連携する複数の大学が共同で単一の学位を授与するもの。今般の大学設置基準等の改正により可能となるJDは、所定のプログラムの修了者に対し、連携する外国の大学との連名による学位の授与を認めることとするもの。

『我が国の大学と外国の大学間におけるジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリー一等国際共同学位プログラム構築に関するガイドライン』より